

JAM政策・制度要求中央討論集会を開催 身近な政策課題を討論



国会議員となって、JAMの皆さんの声を国会へ届けると「村田きょうこ」氏（中央）。右・菊地栄男政策・政治委員会委員長、左・安河内会長（写真撮影のためにマスクを外しています）

JAMは要求実現へ向け、身近な政策課題を討論する「2021年度政策・制度要求中央討論集会」を6月7日に東京・港区「三田NNホール」を主会場にWebで開催した。

私たちの雇用と生活を守るには、対企業との交渉に加え、国や地方自治体への政策・制度要求と実現に向けた取り組みがますます重要になっている。

産業政策・労働政策・社会政策・防災対策などの今年度の政策・制度要求をもとに、参加者からの要望、困りごと、会社の事業や仕事に関係すること、生活や老後、子育てなど、普段の身近な問題などを四つの分科会で議論し、2022年度の要求項目をJAMの組合員とつくり上げていく集会である。

JAMを代表して安河内会長は「議論をして、しっかりと声を上げる。その我々の声を取り上げてもらうために国会に代表を送ることが非常に重要である。なんとしても『村田きょうこ』さんを国会へ送らなければならない。我々は二度と負けることは許されない」と強調した。

JAM第38回中央委員会で第26回参院選候補として推薦を決定した「村田きょうこ」候補

予定者が駆け付け「国会議員となってみなさんの声を国に届け、政策として実現しなければならない」と支援の協力を仰いだ。

また、JAM準組織内国会議員の森本真治参議院議員（写真下）からはコロナ対策などの国会報告がされた。

前回の開催は2018年で、19年は第25回参院選の候補者決起集会を行い、昨年20年は新型コロナの関係で中止となった。三年ぶりの開催は各地方JAM・大手労組会議から総勢240人が参加した。

今集会で出た意見を反映し、8月の定期大会に2022年度JAMの政策・制度要求が提起される。

